

安全対策工（落下防止ワイヤー設置）

	内容	注意事項
作業計画	作業計画の確認	作業責任者・合図者・玉掛者・作業人員の確認 進入経路の確認
日々の安全対策	KY活動 車両使用前点検 現場流入 作業開始前点検	KY活動にて危険ポイントの確認 資格者証の確認 作業内容の確認 流入方法の確認 業務用プレートの確認 車両毎の車両使用前点検の実施 積み荷の状態確認 工事幕の確認 合流時の安全確認 流入時の合図確認 サイドブレーキ・輪止め・ハンドル切り確認 退避訓練の実施 現地KY活動の実施 使用機械・吊り金具ワイヤー等の点検 埋設管・構造物・架空線の確認
作業用親綱設置	高所作業車の設置 高所作業車を使用して既設遮音壁H鋼に親綱クランプを取付て親綱を設置する。（支障木や草があれば撤去）	周囲の状況確認（構造物・架空線・アウトリガー設置個所の状況） 作業車の設置は、平坦な場所に必ず敷き板を使用しアウトリガーを成るべく一杯まで張り出す（軟弱地盤や側溝上の設置は禁止） 監視者の配置 作業半径の立ち入り禁止養生 墜落抑制器具の使用状況はよいか 構造物と高所作業車バケットが接触しないよう操作監視する 資材が落下しないように養生する。
落下防止設置	現場への昇降 既設H鋼固定ボルトを取り外し足長アイボルトに取替え、シャックルを取り付ける 被覆ワイヤーを設置する 緊張器で被覆ワイヤーを固定する。 ワイヤー端部を被覆番線にて固定する。	昇降は梯子を使用し2人以上でしっかり支えて安全ブロックを使用して昇降する 作業は必ず墜落抑制器具を使用する。（足場狭小安全確認！！） 既設固定金具の紛失注意（再利用） ゆるみ止めのアイマーク記入 緊張トルク確認（5.5KN・cm以下）
作業用親綱撤去	高所作業車を使用して既設遮音壁H鋼に親綱クランプを取外し親綱を撤去する。	構造物と高所作業車バケットが接触しないよう操作監視する 資材が落下しないように養生する。
片付け	作業完了 現場流出 作業後の打合せ	現場の忘れ物確認 資材の飛散防止確認 現場の清掃確認（タイヤ付着の土砂は無いか！） 積み荷の状態確認 流出時の合図確認 合流時の安全確認 明日の作業確認 業務用プレートの確認

注意事項	各種作業に適した保護具を使用する。 車両の誘導は確実に行う。 機械作業は有資格者が行う。 作業内容を変更する際は全員で再度KY活動を行う。 ハンゴを使用する際は確実に固定をおこなう事。 移動前に積載物の落下防止対策を実施し、複数人で確認する 車両を後退させる際は誘導員と打合せ実施後移動する。 運転手は運転前に車両の周辺に運転の妨げになる物等が無い確認する
------	--